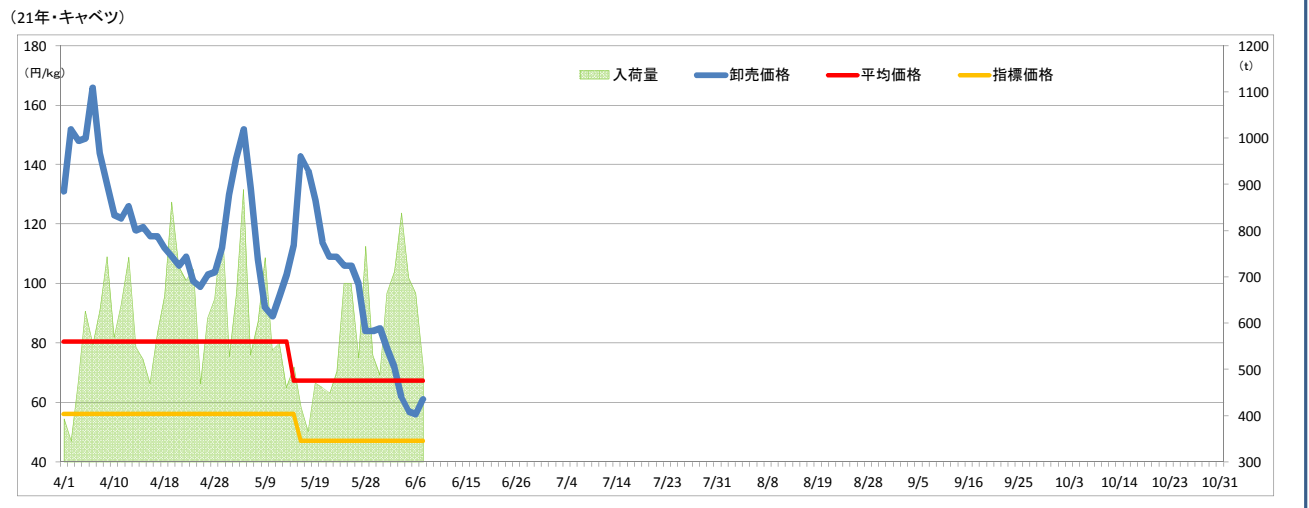
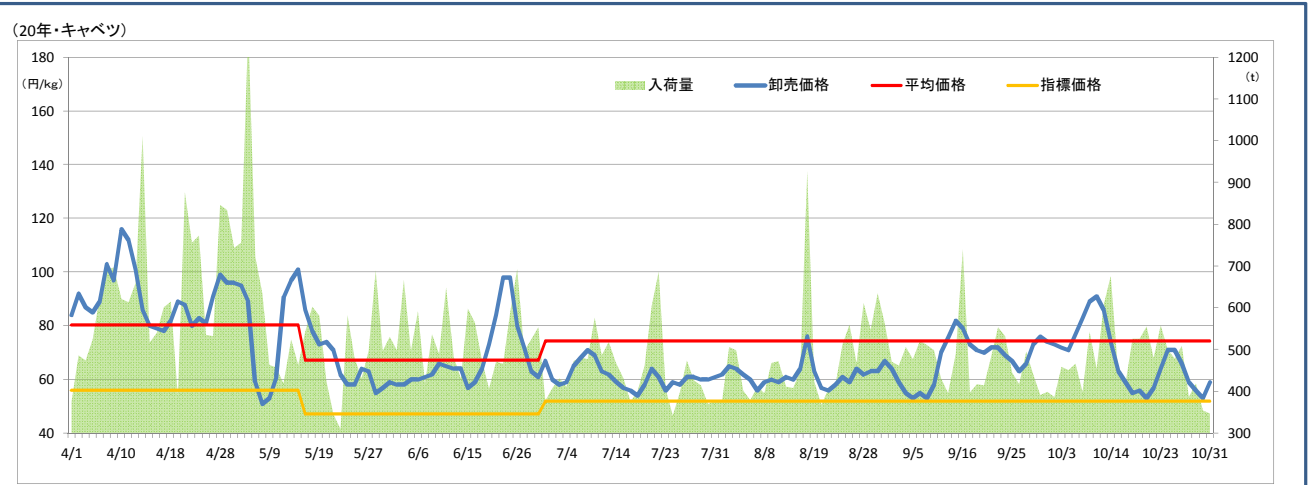


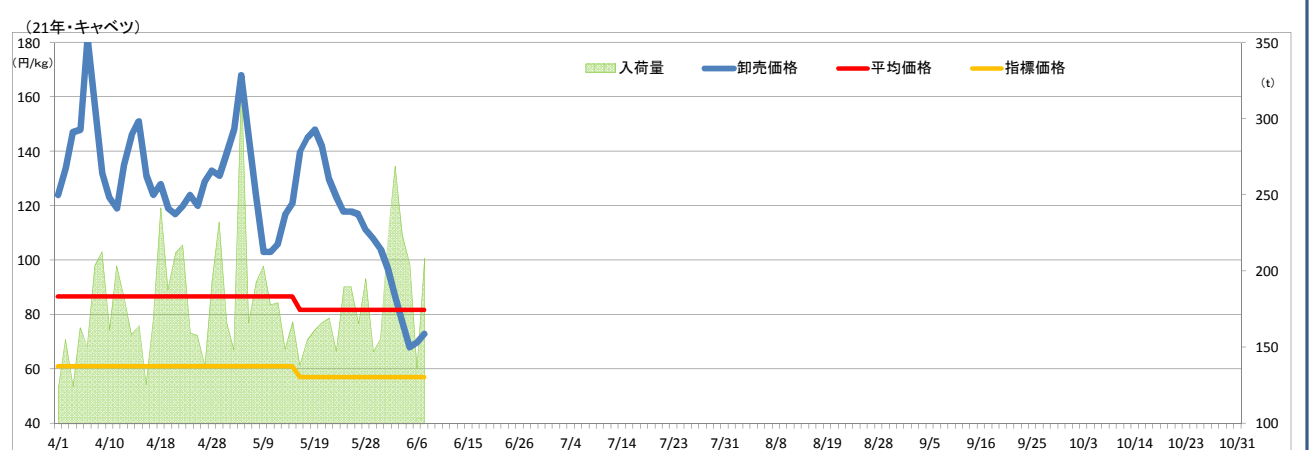
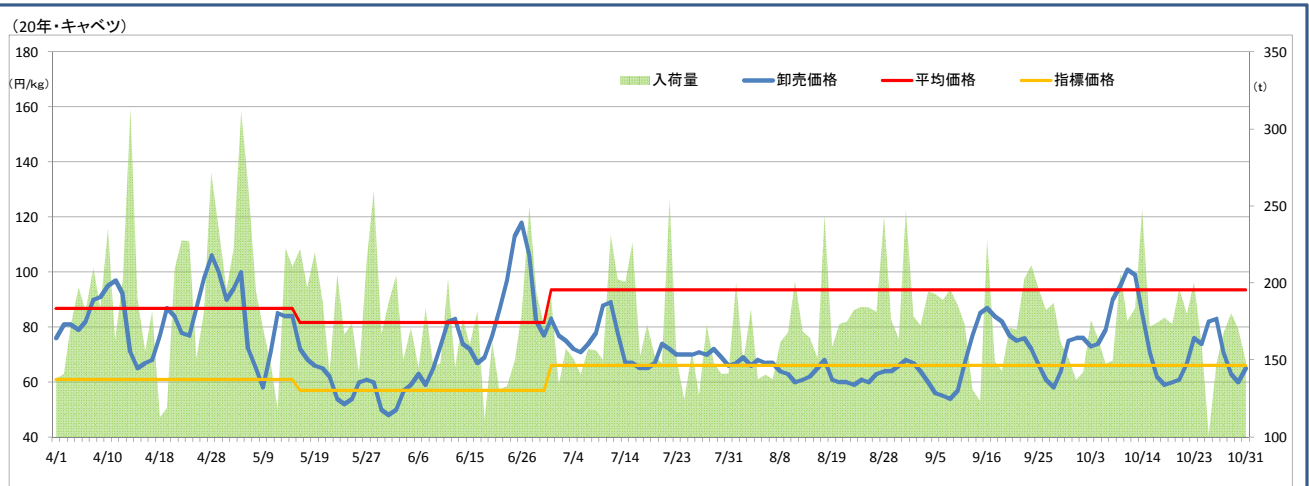
## 夏秋キャベツ(7月～10月)の需給・価格見通し

# 1. これまでの入荷量と価格の推移

## ①東京都中央卸売市場



## ②大阪市中央卸売市場



## 2. 生産出荷状況をめぐる状況

### (1) 供給計画

平成21年の夏秋キャベツの供給計画によると、全農が3月に策定した当初計画では、作付面積は対前年101%（系統共販分）、10アール当たりの収量を前年並としたことにより、収穫量は101%、出荷量は102%としたところである。

### ○当初計画

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比
5,665	5,613	101	5,884	5,858	100	333,342	328,804	101	296,999	290,602	102

### (2) 生産（生育）・出荷状況

資料3-3のとおり

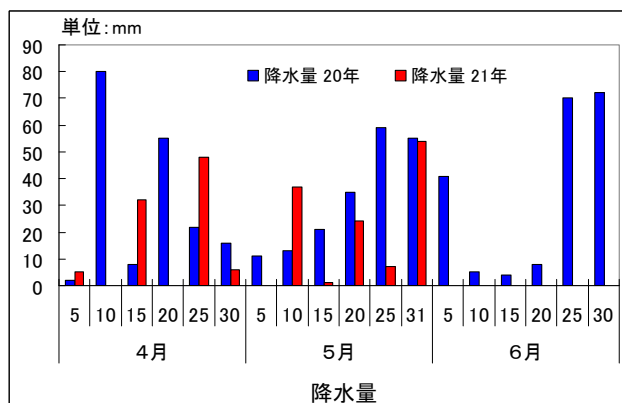
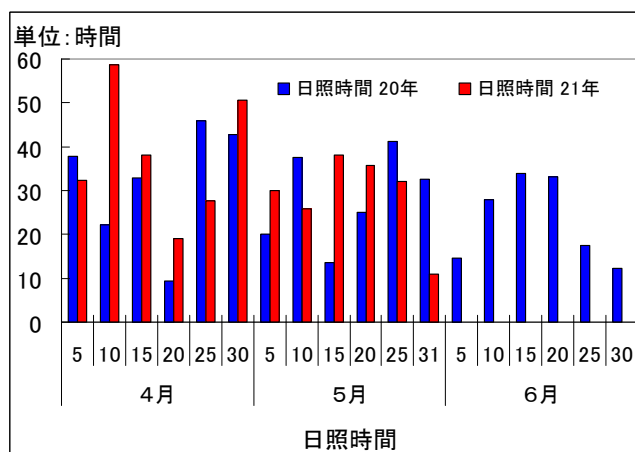
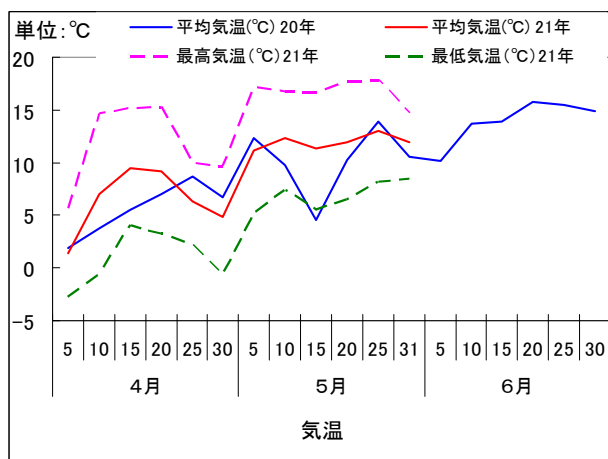
### (3) 天候

#### ①これまでの気象の推移（群馬県 嬬恋村）

気温は、4月後半の急激な低下が特徴で5月に入ってから安定して推移している。

日照時間は前年に比べて4月で130%、5月で102%、4・5月計で117%となっている。

降水量は前年に比べて全体的に少なく4・5月計で60%にとどまっている。



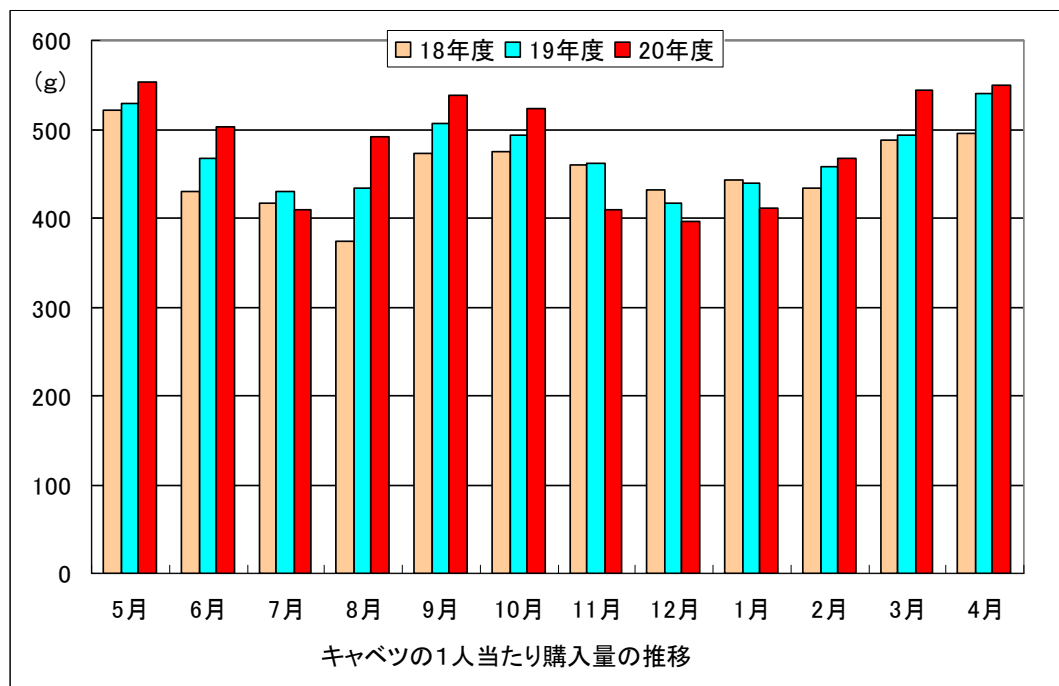
資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、  
原資料：気象庁「AMeDAS」

### 3. 需要動向

#### (1) 家計消費

##### ① 1人当たり購入数量

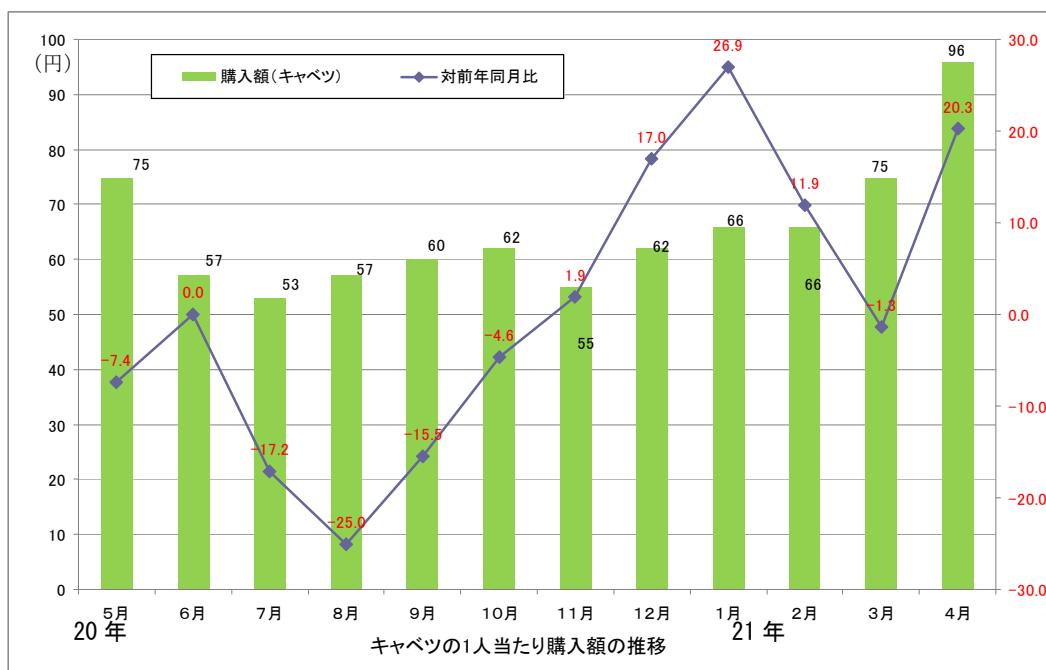
20年の8月から10月は豊作傾向もあり安値基調で購入量が過去2年に比べ伸びていたが、11月から1月にかけては逆に過去2年を下回る傾向となっている。21年の2月から4月にかけては、再び購入量が過去2年を上回った。



資料：家計調査報告（総務省）

##### ② 1人当たり購入金額

20年夏秋期の価格低落により、8月から10月の購入量が伸びたが、購入金額は前年を大きく下回った。11月から1月にかけては品薄から高値となり、購入量が過去2年を下回ったが、購入金額は前年を上回った。

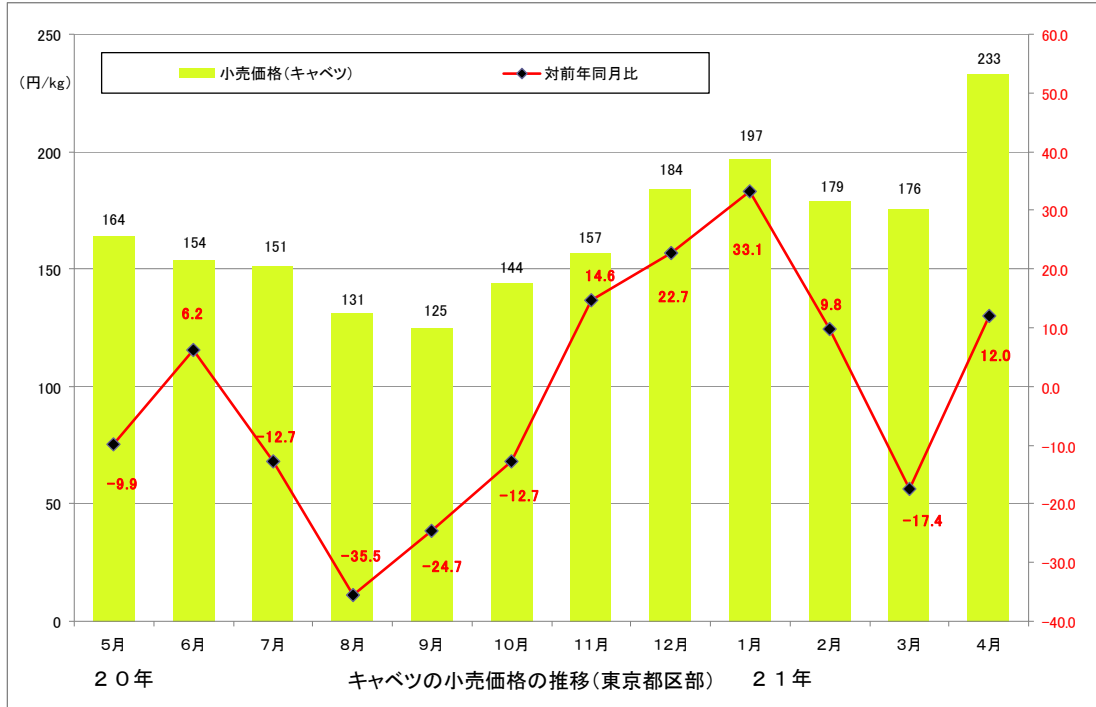


資料：家計調査報告（総務省）

(2) 小売価格・消費者物価指数

① 小売価格（東京都区部）

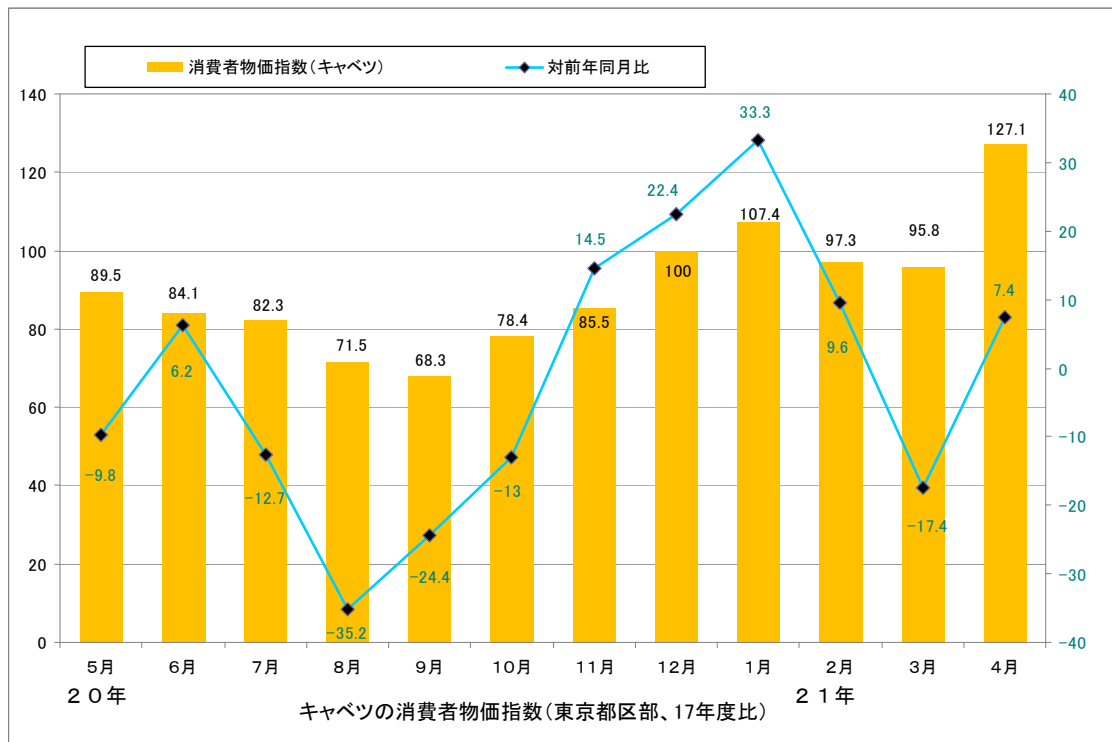
豊作傾向の夏秋期の7月から10月にかけて前年を大きく下回り、出荷量の少なかった11月から1月では前年を上回る価格推移となった。



資料：小売物価調査（総務省）

② 消費者物価指数（東京都区部）

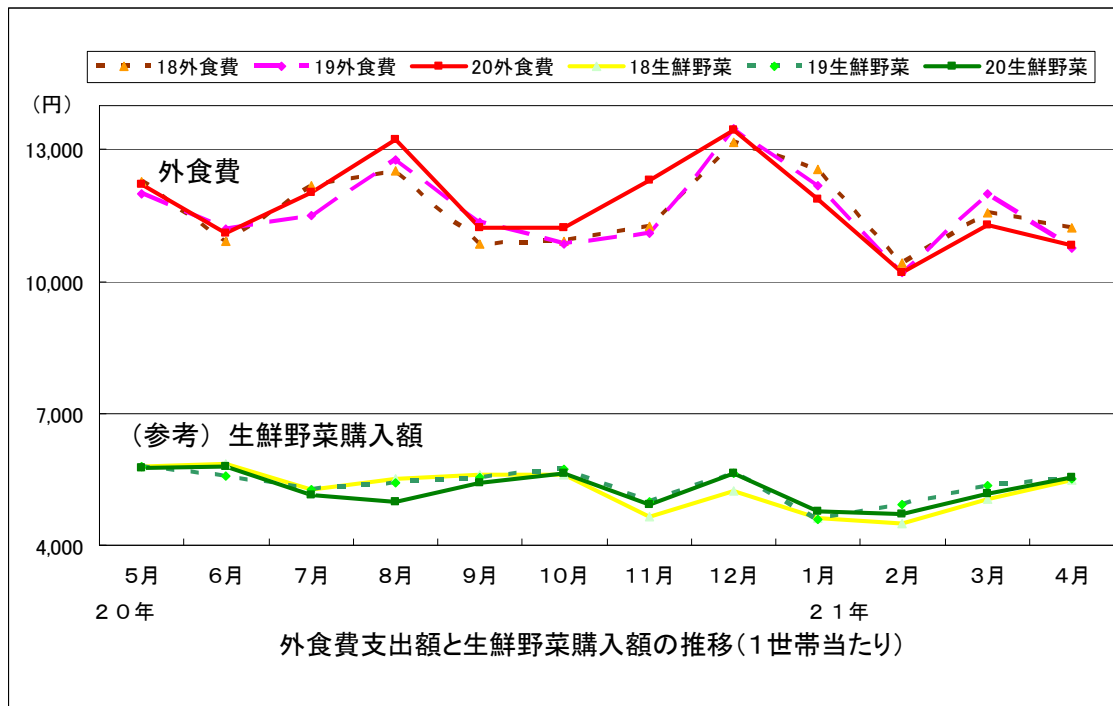
概ね小売価格の推移と同じ傾向となっている。



資料：消費者物価指数（総務省）

### (3) 外食費支出額

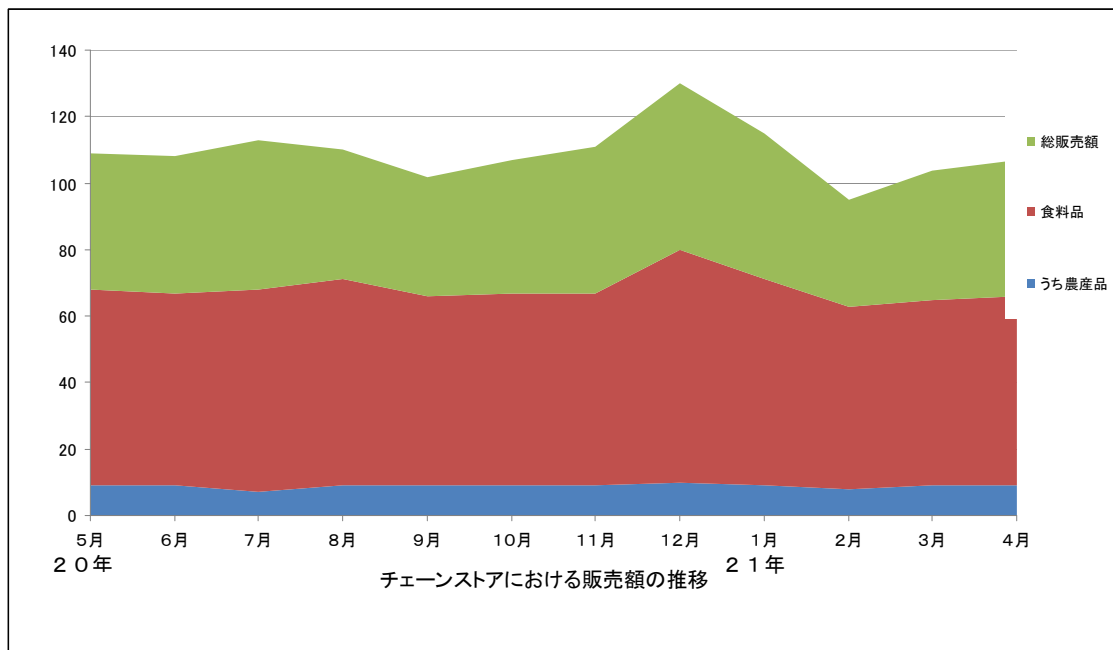
例年8月と12月は外食支出が高くなる傾向がある。今年に入り、前年・前々年に比べ、外食費は低い推移となっている。



資料：家計調査報告（総務省）

### (4) チェーンストアの販売動向

総販売額・食料品は12月にもっとも多く、2月に低迷する。農産品はほぼ年間一定の販売額となっている。



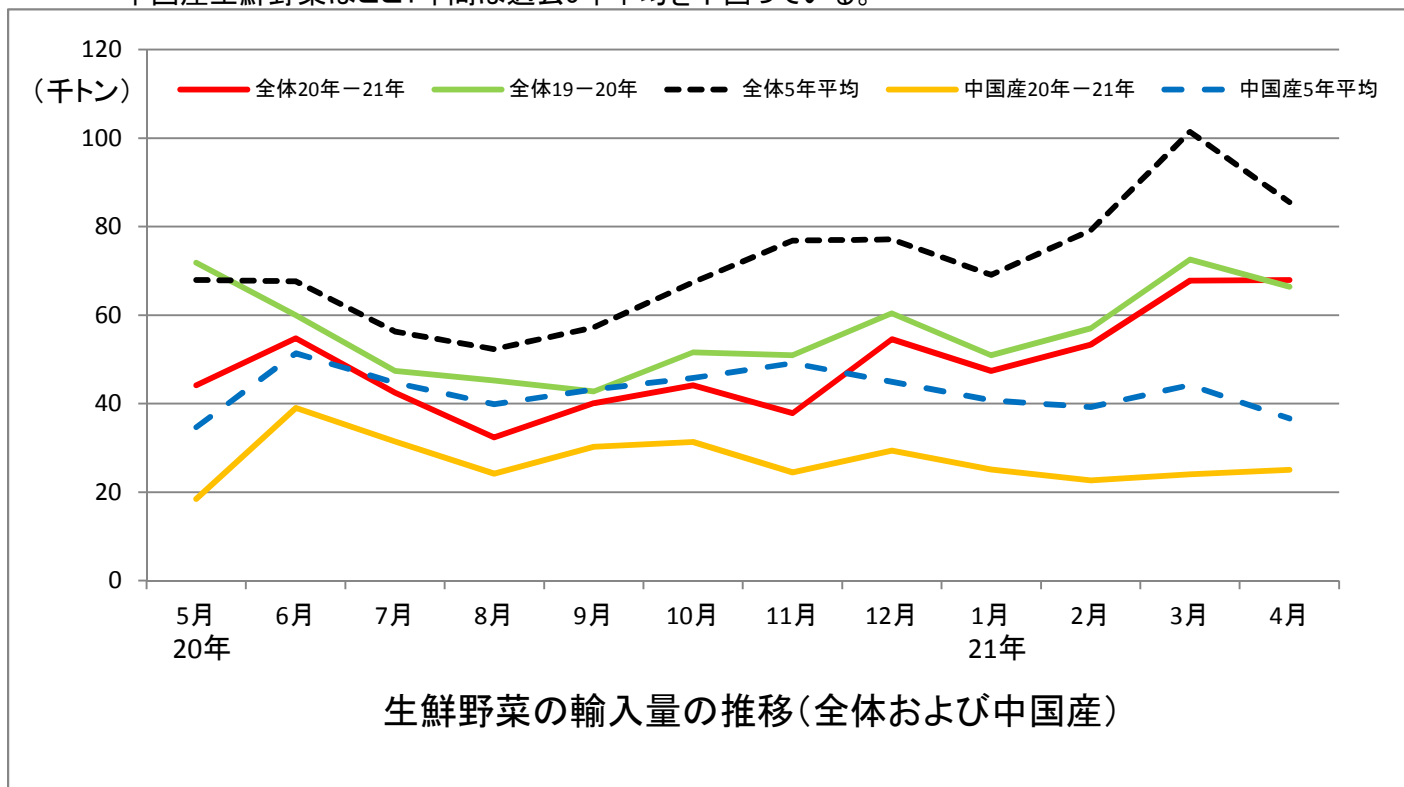
資料：チェーンストア協会資料

○輸入動向

① 生鮮野菜の輸入動向

生鮮野菜の全体量ではここ2年間(赤・緑)は過去5年平均を下回っている。

中国産生鮮野菜はここ1年間は過去5年平均を下回っている。

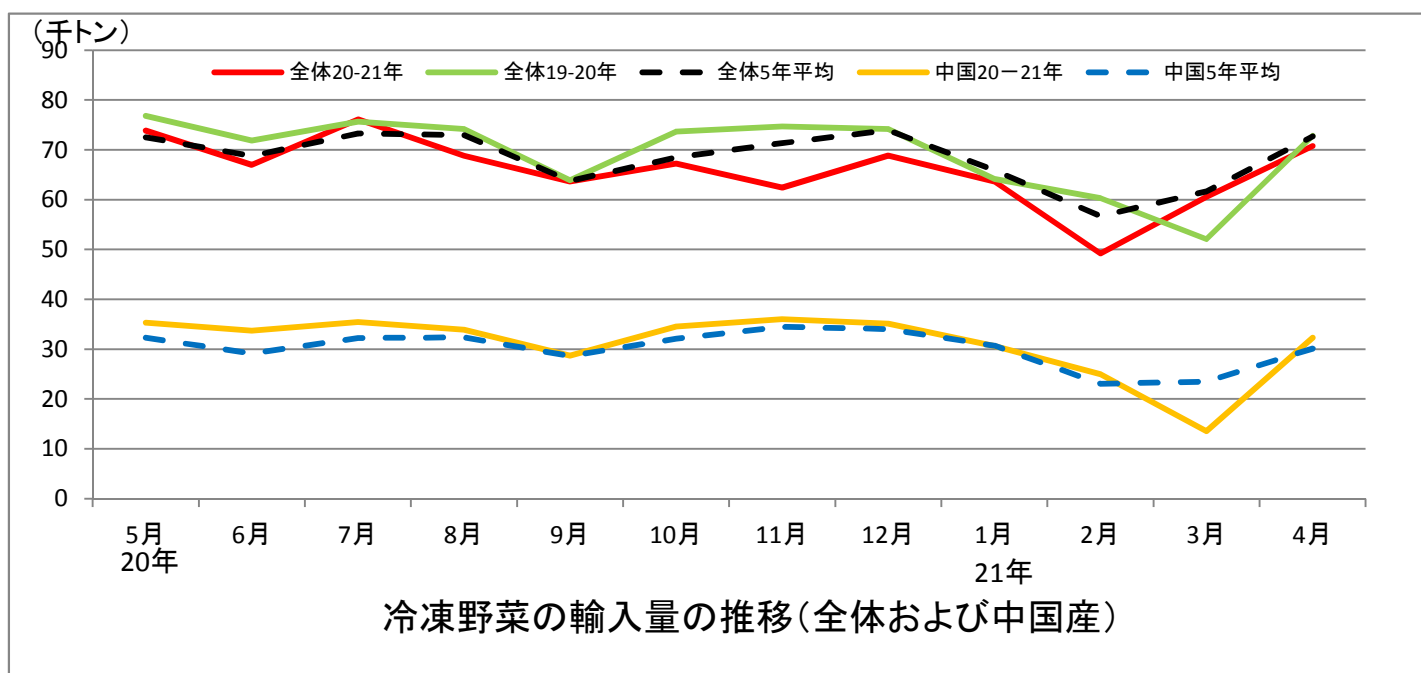


資料: 貿易統計(財務省)

② 冷凍野菜の輸入動向

生鮮野菜がここ2年が過去5年平均の水準から実績を落としているのに対し、

冷凍野菜では平均水準並みの推移となっている。



資料: 貿易統計(財務省)

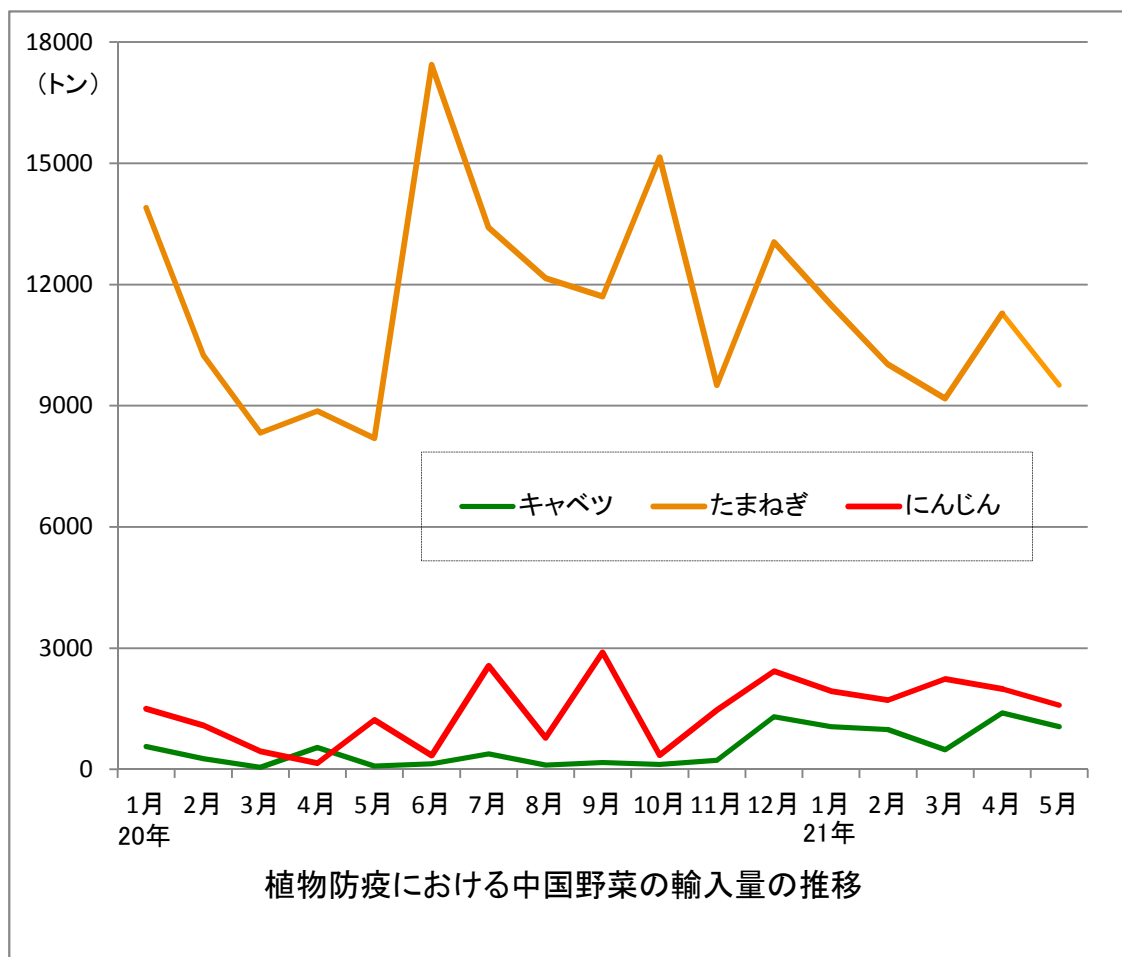
③ 野菜の輸入実績(上位5品目、平20年)

○生鮮 (トン)		○冷凍 (トン)	
① たまねぎ	184,178	① ばれいしょ	315,732
② かぼちゃ	100,379	② えだまめ	55,654
③ ごぼう	44,762	③ スイートコーン	44,762
④ にんじん かぶ	43,004	④ さといも	43,004
⑤ ねぎ	33,568	⑤ いちご	33,568

資料:貿易統計(財務省)

④ 植物防疫における中国野菜の輸入量の推移

現在まで、たまねぎは昨年とほぼ同じ水準で、波形も類似した推移となっているが、キャベツとにんじんは昨年の秋頃から回復基調で推移している。



資料: 植物防疫検査所資料(農林水産省)



(参考2)

○夏秋キャベツ過去における市場隔離等の実施状況

年度	実施時期	実施数量 (t)
S55		
56	9月上旬～10月中下旬	3,938
57	7月下旬～8月上旬	655
58	7月下旬	15
59	8月上旬～10月下旬	11,632
60	7月中旬～10月上旬	10,858
61	8月下旬～9月中旬	8,900
62		
63		
H元		
2		
3		
4	10月下旬	1,895
5	7月下旬	649
6		
7	10月上旬	1,174
8	8月上旬～9月上旬	7,112
9		
10		
11		
12	8月下旬～10月中旬	11,225
13	9月上旬	4,406
14		
15		
16	8月下旬	3,787
17	8月中旬～8月下旬	17,629
18		
19		
20	9月中旬	5,600

4. 今後の見通し